

キャラクター名	プレイヤー名
スリジエ・リュミエール	

メインクラス	メイガス	Lv.1:		レベル	21
サポートクラス	シャーマン	Lv.1:	ドルイド	性別	♀
称号クラス				年齢	14
種族	エルダナーン			境遇	出世
出自(効果)	王侯貴族			目標	好奇心

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	28	8	8	36	7	35	9
ボーナス	9	2	2	12	2	11	3
クラス修正	0	1	0	3	0	4	0
他修正				1	1	1	
能力値	9	3	2	16	3	16	3

HP	141
MP	256
フェイト	9

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ケセドの杖	至近	-1	8	0	0	0	0	0
左手									
頭部	知恵の宝冠					5	1		
胴部	パニッシュローブ					6	-5		
補助	アンセスターネックレス					1	1		
装身具	真理の書								
能力値			3	0	2	0	16	5	14
スキル									
その他									
総計(右)			2	8					
総計(左)					2	12	13	5	14
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	3			3	+ 2 d
トラップ解除	3			3	+ 2 d
危険感知	3			3	+ 2 d
エネミー識別	16			16	+ 2 d
アイテム鑑定	16			16	+ 2 d
魔術判定	16			16	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定	3			3	+ d

所持品	
バックパック	EXMPポーション
ポーチ	HMPポーション×13
ギルド譲渡	
ポーションポーチ	
ランチボックス	
ハイMPポーション	
ハイMPポーション	
ハイMPポーション	
ハイMPポーション×2	
転送石	
マジカルキー	

現在重量:	22	所持金:	-14800	預金・借金:	
最大重量:	35				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
イモータリティ	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果:	《トリビアリスト》を取得する							
コンセントレイト	1	-	パッシヴ	至近	自身	-		
効果:	魔術判定+1D							
エアリアルスラッシュ	1	4	メジャー	20m	単体	魔術		
効果:	魔術判定+1D、攻撃力2D+5							
リゼントメント	1	-	効果参照	-	自身	自動	1回/1分	
効果:	攻撃力+CL*10							
ミスルトウパワー	5	3	セットアップ	20m	単体	自動	シーン1回	
効果:	ラウンド中攻撃力SL*5上昇。							
マジックフォージ	1	3	DR直前	-	自身	自動	シーン1回	
効果:	攻撃力+SL*2D							
フォースインパクト	3	-	マイナー	-	自身	自動		
効果:	SL*10点以下の任意のHP分攻撃力増加							
トリビアリスト	1	6	判定直前	-	自身	自動	シーン1回	
効果:	判定を知力で行う							
エルダーマジック	1	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果:	魔術判定に+1D							
ワーニング	1	6	判定直前	20m	単体	自動	-	
効果:	対象の感知判定に+1D							
シックネス	3	4	DR直前	20m	単体	自動	R1	
効果:	対象の攻撃時に衰弱をSL与える							
ピアッシングペイン	1	13	DR直前	20m	単体	自動	R1	
効果:	対象の攻撃を貫通ダメージに変更							
タングル	1	-	効果参照	20m	単体	自動	シナリオ回	
効果:	対象のリアクションの出目一つを1に変更							
ファストチャネル	1	-	クリナップ	-	自身	自動	シナリオ回	
効果:	タングルの回数回復							
エキスパート	1	3	マイナー	-	自身	自動	-	
効果:	魔術判定+1D							

スリジエ・リュミエール
 出身:スピアルゾン
 スリジエはスピアルゾンの有力貴族、リュミエール家の次女として生まれた。
 幼少時代から読書に熱中し、特に冒険譚を好んでよく読んでいた。
 そして次第に自ら世界を見て回りたいと志すようになっていく。
 しかし、リュミエール家は代々優秀なドルイドを輩出してきた家系であり、当主となった者はその生涯を霧の森の監視に捧げなくてはならない。
 幸か不幸か、スリジエには魔術師として、そしてドルイドとして才能があった。
 歳が二桁に届く頃には頭角を現し、幼いながらドルイドとして認められることになる。
 このまま護人として一生を霧の森で過ごすなんて耐えられない。そして彼女は11歳の誕生日、自らの護人としての披露宴の日に監視の目を潜り、行商の馬車に潜り込んだのだ。まだ見ぬ世界をその目で見るために。

それから3年の月日が経った。
 優秀だったとはいえず子供の一人旅など長く続くはずもなく、行き倒れたスリジエは運良く近くの村で保護され、村で治療や自作のポーションを売って生計を立てていた。

